

タカチホヘビの採集記録

八 神 徳 彦*¹・安 田 雅 美*¹・内 藤 恭 子*²

*¹石川県白山自然保護センター, *²石川県白山市

Collection record of *Achalinus spinalis* Peters

Tokuhiko YAGAMI*¹, Masami ANDA*¹, Kyoko NAITOH*²

*¹Hakusan Nature Conservation Center, *²Hakusan, Ishikawa

タカチホヘビ (*Achalinus spinalis* Peters) は石川県の準絶滅危惧種に選定されている爬虫類であり、石川県内では加賀から能登半島基部まで記録が散在している (石川県野生動物保護対策調査会, 2020)。今までに、白山スーパー林道 (現白山白川郷ホワイトロード) (戸田, 1985) や金沢城址 (戸田, 1992) のように多数の発見例もみられるが記録は多くない。今回、2例の本種死体を取得したので報告する。

事例 1

採集日:2019年6月, 採集場所:白山市中宮 (白山林道管理事務所前) (標高608m), 採集者:安田雅美, 死体取得。体長:約20cm (幼蛇) (乾燥状態で取得)

発見した場所は、戸田 (1985) の記録とほぼ同じであることや、幼蛇であったことから当地では安定的に生息していると思われる。

事例 2

採集日:2021年10月24日, 採集場所:白山市上野 (標高180m), 採集者:内藤恭子, 死体取得。体長:26cm (つぶれた状態で取得)

発見した場所は山麓の耕作地に隣接する集落の車庫前で、山林からは500m程離れている (写真)。

石川県野生動物保護対策調査会 (2020) によれば、生息環境として落葉層、腐葉土層がよく発達し、ミミズが多い豊かな森が必要とされているが、本事例のように森林から離れた場所での記録は興味深い。



写真 事例 2 の採集地の状況

引用文献

- 戸田光彦 (1985) 石川県白山麓におけるタカチホヘビの新産地. 石川県白山自然保護センター研究報告12 : 67-69.
戸田光彦 (1992) 金沢大学丸の内キャンパスで記録された両生類, 爬虫類. 金沢大学理学部付属植物園年報 (15) : 18-23.
石川県野生動物保護対策調査会 (2020) いしかわレッドデータブック2020 動物編. 石川県生活環境部自然環境課. 89pp.